

平成30年度第2回草津市健幸都市づくり推進委員会 意見について

項目	主な意見	対応・方針等
委員会の運営について	<p>・最初に資料を読んで話すとなると、かしまってしまい意見が言いにくい。</p> <p>・皆さん忙しい中集まってくれている。市民の声を拾うために、もっとラフに話し合う場が必要なのではないか。</p> <p>団体の代表を集めて何を求めているのか。意見をもとに作ったものがどうかというなら話はしやすいが。風通しよくしゃべって次に生かす形にしてほしい。せっかく選ばれているのだから意見交換していかないと次年度同じことの繰り返しになる。</p>	<p>進捗状況等を正確にお伝えするためにどうしても難しい資料になってしまっていますが、可能な限り発言しやすい委員会となるよう努めてまいります。</p> <p>もともと健幸都市基本計画は委員の皆様の見解を踏まえて作ったもので、その計画の進捗状況についてご意見をいただければと考えています。</p> <p>また、健幸都市づくりについては、行政だけでなく、市民の皆様や大学、企業、団体等、みんなで進めていくものです。それぞれの立場から、健幸都市の実現に向けて何ができるかを考え、実行し、委員の皆様それぞれが旗振り役になっていただければ、健幸都市くさつの実現により近づくのではないかと考えています。</p>
情報発信について	<p>会議に出席していなければ知りえなかった情報があると感じる。積極的な情報発信をお願いしたい。</p>	<p>啓発不足についてはたびたびご指摘いただいております。今年度、広報紙をはじめ、ピンバッチ、横断幕など、啓発に力を入れて取り組んでいるところです。</p>
図書館の活用について	<p>あるテレビ番組でAIにビッグデータを分析させ何が健康寿命に影響するかを調べていて、運動や食事ではなく、読書という項目があがってきていた。図書館などつながりながらやっていくことも健幸都市にとって必要なのではないかと感じた。</p>	<p>こういった要素が健康寿命の延伸につながっているかというところは、県としても分析され、その要素のひとつに図書館の多さが挙げられています。このことから読書は健康寿命に一定影響を与えていると言えますし、健康のための図書館の活用という視点を持つことも大切だと考えています。</p>